

都道府県教育委員会教育長殿
高等学校長殿
中学校長殿
国立大学附属学校長殿

平成 26 年 8 月吉日

金沢大学 SGH 特区教育センター長 柴田 正良
金沢大学附属高等学校長 大谷 実

第 1 回 SGH 研究大会・第 24 回高校教育研究協議会ご案内

テーマ 学校改善プロジェクトから SGH へ

残暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本校は、平成 26 年度から文部科学省が開始しているスーパーグローバルハイスクール (SGH) に指定されました。本校の構想名は、「北陸からイノベーションで世界を変えるグローバル・リーダーの育成」です。本構想では、北陸地域から高大連携によりイノベーションを創生できるグローバル・リーダーを育成するプログラムを提案するため、相互に関連する 3 つの研究開発を行います。Ⅰ地域から世界へと発展する一貫した課題研究カリキュラムの開発、Ⅱ課題研究の質を高める外部資源活用方法の開発、Ⅲ課題研究の基礎をなす既設教科の内容と方法の改善 (教科の SGH 化) です。これらの研究開発を進めるため、生徒に対しては 4 つの課題研究を設定しました。「地域課題研究」、「異文化研究」、「グローバル提案」、「グローバル・キャリアパス」です。そのうち、現在、「地域課題研究」を進めております。

本研究大会では、数学科・地歴科 (世界史)・英語科における「課題研究の基礎をなす既設教科の内容と方法の改善 (教科の SGH 化)」の実践を公開授業いたします。現在進行中の「地域課題研究」における生徒の研究発表についても公開します。あわせて、本校が SGH に申請した経緯、本校の SGH の内容及び計画、管理機関金沢大学の取り組みについて報告いたします。文部科学省からは榎本剛初等中等教育局国際教育課長のご講演をいただきます。

本校の SGH 事業はまだ端緒についたばかりですが、本校の実践に対するご批判、ご教示を賜り、より良い事業に育てていきたいと考えております。また、本研究会を通して SGH 事業構想の普及に貢献できればと存じます。つきましては、公務ご多忙の折とは存じますが、貴校・貴職の先生方に多数ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

1. 主 催 金沢大学 SGH 特区教育センター
金沢大学附属高等学校
2. 日 時 平成 26 年 10 月 4 日 (土)
3. 会 場 金沢大学附属高等学校
〒921-8105 金沢市平和町 1 丁目 1 番 15 号
TEL (076) 226-2154 (代表) FAX (076) 226-2150

4. 日 程

8:30 9:20 9:50 10:40 10:55 11:25 11:40 12:40 13:40 13:45 15:00 15:15 15:55 16:00

受付	開会行事	教科SGH化 公開授業	休憩・移動	公開授業 整理会	休憩・移動	SGH 地域課題研究 生徒発表	昼食・休憩	学長挨拶	研究報告	休憩	講演会	閉会行事
----	------	----------------	-------	-------------	-------	-----------------------	-------	------	------	----	-----	------

5. 開会行事 (9:20~9:35)

- ・ 学校長挨拶 大谷 実 (金沢大学附属高等学校長・人間社会学域学校教育学類教授)
- ・ 諸 連 絡 (研 究 部)

6. 「教科のSGH化」公開授業 (9:50~10:40) 整理会 (10:55~11:25) 数学・地歴・英語

クラス	教科(科目)	内 容	授業者
1A	数 学 (数学 I) 現実世界に活かす数学のあり方	オランダにおける数学コンテスト Alympiad の問題をもとに、「現実世界に活かす数学のあり方」に関する実践を行います。問題に内在する仮定を意識し自ら設定するとともに、現実世界をモデル化し、数学によって、現実世界への解釈を生む数学的活動を意図した授業実践を行います。	外山康平
1B	地 歴 (世界史 A) 「移民」と「国民」	世界史という科目は、もともとグローバルという要素を多く含んでいます。その中でもさらにグローバル性の強い「移民」を取り上げることによって、現在の「国民」あるいは「国民国家」とは何かを考えさせます。	塚田章裕
1C	英 語 (英語表現 I) グローバル・ディスカッション	様々なトピックに関して、金沢大学外国人留学生と、お互いの国での状況について情報交換することを通して、口頭での英語の運用力を高めると同時に、グローバルなものの見方を身につけさせます。本授業では「年中行事」をトピックとして行います。	真木啓生

7. SGH地域課題研究 生徒発表 (11:40~12:40)

「地域課題研究」は石川県内を対象に「地域や人々を幸せにする方法を提案する」ことを目指します。4月から金沢大学や企業・自治体の協力を得ながら地域理解を深めつつ研究を進めてきました。本研究協議会では、2クラスのそれぞれ2チームの研究の成果を発表します。

8. 学長挨拶 (13:40~13:45)

山崎 光悦 (金沢大学長・金沢大学グローバル人材育成推進機構長)

9. 研究報告「本校のSGHの取り組み」(13:45~15:00)

管理機関の取り組み 柴田 正良 (金沢大学 SGH 特区教育センター長・金沢大学教育担当理事)

本校のSGHの取り組み 山本 吉次 (金沢大学附属高等学校研究部主任・学内教頭)

管理機関金沢大学は、金沢大学長を機構長とするグローバル人材育成推進機構のもとに SGH 特区教育センターを設置して、SGH 事業を実施しています。センターは、SGH 事業の実施に当たっての重要事項を審議するため、SGH プログラム運営委員会を置きました。これらの機関の取り組みについて報告します。

附属高校は、平成 21 年度・22 年度国立教育政策研究所教育課程研究センター「教育課程研究指定校」事業に指定され、研究主題「新学習指導要領における『総合的な学習の時間』の目標を具体化するための指導内容と指導方法改善に関する研究」を行ってまいりました。また、平成 25 年度からは学校改善に取り組み、第 23 回高校教育研究協議会にて「学校改善プロジェクトー互いに学びあう学校作りー」と題して実践報告しました。これらの取り組みを踏まえ、本校は SGH に申請し、指定されました。

本年度前期は、課題研究のうち「地域課題研究」を実施してまいりました。後期には「異文化研究」を実施します。この間、外部資源の導入方法の開発にも尽力してまいりました。並行して「教科の SGH 化」も進めております。今回は、本校が SGH に申請した経緯、および本校の SGH の内容及び計画について報告します。

10. 講演会 (15:15~15:55)

文部科学省初等中等教育局国際教育課長 榎本 剛 氏

題名「SGHを通じて目指すこと」

11. 参加申し込み

申し込み用紙をコピーして必要事項をご記入の上、平成 26 年 9 月 24 日 (水) までに、郵送 (必着) または FAX, メールでお申し込み下さい。申し込み用紙は本校ホームページからもダウンロードできます。(参加費不要)

◎ 申し込み先

金沢大学附属高等学校研究部

〒921-8105 金沢市平和町1丁目1番15号

TEL (076) 226-2154 FAX (076) 226-2150

E-mail kitano@kfshs.kanazawa-u.ac.jp

URL <http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/kfshs/>

12. 会場への順路

(1) JR 金沢駅から

- ・バス： 東口北鉄バスのりば⑦番から「平和町」「金大附属学校・自衛隊前」方面行き（20番・21番・22番・25番系統）に乗車，「金大附属学校・自衛隊前」で下車。（約30分，バス料金240円）

＊「平和町」行きの場合は，終点「平和町」より徒歩3分。

- ・タクシー： 平和町・金沢大学附属高等学校まで（約25分，料金約2,500円）

(2) 自家用車

北陸自動車道・金沢西インターより，西インター大通り（野田専光寺線）を直進。（約30分）

山側環状道路をご利用の場合は，野田町西交差点から北に入り，最初の信号（野田町交差点）を寺町方面へ左折してください。（駐車場は校内にあります）



13. その他

- (1) 昼食 準備の都合上，ご希望の方は参加申込書にご記入下さい。（料金1000円）
- (2) 宿泊 各自ご手配下さい。